

資料編

- | | | |
|---------|------------|--------------|
| 1. 策定経過 | 2. 総合計画審議会 | 3. 総合計画策定委員会 |
| 4. 市民参画 | 5. 個別計画の体系 | 6. 用語集 |



策定経過

年月日	内容
平成30年 4月19日	総合計画策定方針の決定
平成30年 9月	総合計画策定に関する市民アンケート調査の実施 (調査期間 平成30年9月13日～10月10日)
平成30年10月15日	市広報誌への掲載(新たな総合計画の検討開始)
平成30年11月 4日 12月15日 平成31年 1月19日	綾瀬市まちづくりカフェの実施(計3回)
平成31年 3月	まちづくりニュース 第1号の発行
令和 元年 5月24日	総合計画審議会 綾瀬市総合計画基本構想について(諮問)
令和 元年 8月 4日 8月 6日 8月10日 10月 4日 11月12日	グループインタビューの実施(計5回)
令和 元年12月	まちづくりニュース 第2号の発行
令和 2年 4月	まちづくりニュース 第3号の発行
令和 2年 4月 9日 4月11日 4月12日	地域説明会(市役所、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館) ※地域説明会については新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
令和 2年 4月15日	市広報誌への掲載(総合計画の概要、パブリックコメントの実施、 総合計画コラムの掲載開始(4月～10月))
令和 2年 4月21日	パブリックコメントの実施(令和2年4月21日～5月20日)
令和 2年 5月 1日	市広報誌への掲載(戦略プロジェクトの紹介)
令和 2年 6月30日	総合計画審議会 綾瀬市総合計画基本構想について(答申)
令和 2年 9月28日	総合計画基本構想の議決
令和 2年11月 1日	市広報誌への掲載(総合計画特集)

(1) 会議の開催経過

回	年月日	主な議題
1	平成31年 2月22日	(1) 会長の選出について (2) 次期総合計画の策定方針及び今後の日程について (3) 市民参画の取り組み結果について (4) 次期総合計画の出来上がりイメージについて
2	令和 元年 5月24日	(1) 戦略プロジェクトについて (2) 今後の進め方について
3	令和 元年 7月29日	(1) 次期総合計画の構成及び内容について
4	令和 元年10月15日	(1) 戦略プロジェクトについて (2) 実現化方策について (3) 10年後の都市像について
5	令和 元年12月18日	(1) 総合計画素案について
6	令和 2年 1月30日	(1) 総合計画素案（パブリックコメント案）について
7	令和 2年 6月30日	(1) 総合計画素案に対するパブリックコメントについて (2) 綾瀬市総合計画基本構想に関する答申（案）について

(2) 委員名簿

役職	氏名	所属等
会長	羽田 耕治	横浜商科大学 名誉教授
職務代理	円谷 克巳	自治会長連絡協議会 委員
委員	諸坂 佐利	神奈川大学法学部自治行政学科 准教授
委員	丸山 裕司	神奈川県綾瀬工業団地協同組合 理事長
委員	金子 尚未	綾瀬市保育会 会員
委員	笠間 順	神奈川県厚木土木事務所東部センター 所長
委員	平出 恵子	綾瀬市教育委員会 委員
委員	池田 晋平	東京工科大学医療保健学部作業療法学科 助教
委員	武田 恵智子	公募市民
委員	立花 富男	公募市民
前委員	山中 孝文	神奈川県厚木土木事務所東部センター 所長

(3) 諮問文

綾 企 第 1 号

令和元年 5月24日

綾瀬市総合計画審議会

会長 羽 田 耕 治 殿

綾瀬市長 古 塩 政 由

綾瀬市総合計画基本構想について(諮問)

綾瀬市総合計画基本構想について、綾瀬市附属機関の設置に関する条例(昭和53年条例第13号)に基づき、貴審議会の意見を求めたく諮問いたします。

(4) 答申文

令和2年6月30日

綾瀬市長 古塩 政由 殿

綾瀬市総合計画審議会

会長 羽 田 耕 治

綾瀬市総合計画基本構想について(答申)

令和元年5月24日付け綾企第1号で諮問のありました綾瀬市総合計画基本構想について、当審議会において数次にわたり慎重に審議した結果、内容は概ね妥当なものと考えられますので次の意見を付して答申します。

今後これらの意見を十分尊重のうえ、計画の実現に向け積極的に取り組まれることを期待します。

意 見

目まぐるしく変化する経済・社会に対応し、計画期間を10年間に短縮したほか、今後の10年間で目指すべきまちの姿を設定し、その実現に特化した取り組みである「戦略プロジェクト」を中心とした計画とするなど、これまでにない新たな視点により計画の実現性・実効性を高めつつ策定されたことを評価する。

計画書の冒頭に、新たな総合計画により実現する望ましいまちのイメージを挿入するなど、市民にも分かりやすい計画づくりが意識されていることを高く評価するが、専門用語や難解な用語については注釈などを付し、さらに理解しやすい計画書となるよう配慮されたい。

1 10年後のまちの姿

全国的な人口減少の加速とともに、少子高齢化が一層進行し、持続可能なまちづくりが今後ますます重要となっている。

このような状況を踏まえ、将来都市像に加えて、10年後のまちに向けた理念「“つたえる”を大切にするまち “つながる”を生み出すまち」を掲げ、社会関係資本という概念のもと、まちづくりが「物」から「人」に変化しているという考え方を示していることは、現在の社会情勢をよく捉えられていると認識している。支え合いによる地域福祉の実現という目的を念頭に置きながら、持続的な成長・発展を続けるまちづくりを推進されたい。

2 戦略プロジェクト

自立性を有した持続性の高いまちづくりをより具体的かつ実効的に実現するため、5つの原則のもと重点的、戦略的に実施すべき「戦略プロジェクト」を定めたことを評価する。戦略プロジェクトの政策的重要性を踏まえ、確実に推進されたい。

また、戦略プロジェクトは市民や事業者等と共に取り組んでいくことを踏まえ、その示し方については分かりやすい表現や見やすいデザインとするよう配慮されたい。

さらに、戦略プロジェクトの実施にあたっては、取り組みや期待する効果を形式的に分離することなく、他の施策との相乗効果が発揮されるよう推進していくことを期待する。

(1) 育てる

子育て支援体制の強化や幼児教育の推進により、子育て世帯が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進されたい。

既存の地域資源である公園や歴史文化を有効活用した魅力づくりが重要である。特色、特長を生かした整備とともに、市民が地域活動へ参加しやすく、さまざまな形で活躍できる環境づくりを進めることで、地域の担い手づくりの充実を図られたい。

(2) 稼ぐ

生産年齢人口の減少や産業各分野での後継者不足などを背景に、働き手の確保が求められており、IoTなどの近年の科学技術の活用と併せて、人を育てることを重視した取り組みにより、発展的な展開に結び付けていくことを期待する。

道の駅の整備、中心市街地のリニューアルについては、今後のまちづくりの核となるという認識のもと、綾瀬市のにぎわいの拠点としてふさわしい場とするとともに、市民同士や来訪者との出会いといった交流機会を生み出す魅力的なまちづくりを推進されたい。

(3) 支える

自然災害の頻発化・甚大化に加え、新たな感染症の流行などに伴う安全・安心に対する市民のニーズの高まりを的確に捉え、市民と行政が安心して暮らせるまちづくりを推進されたい。

公共施設については、サービスや利便性の向上を前提としたうえで、財政面において将来を見据えた施策の実施を推進されたい。

3 実現化方策

行政が市民や事業者と相互に連携することで、実現化方策自体が相乗効果を生み出していくことを十分に踏まえる必要がある。そのうえで、行政としての主体性・主導性についても十分に発揮し、戦略プロジェクトの実現に結び付くよう実現化方策を推進されたい。

4 計画の進行管理

本計画を着実かつ有効に実施していくために、各戦略プロジェクトが実質的な成果を生み出していくことを主眼とするマネジメント体制の構築が必須であり、従来の「PDCAサイクル」ではなく、現状の評価から始め、改善後もしっかりと評価を行いながら事業展開へつなげる「CAPDCサイクル」の定着化に向けた体制を整備するとともに、実効性が担保される仕組みを構築することで進行管理を図られたい。



(1) 会議の開催経過

回	年月日	主な議題
1	平成30年 4月19日	(1) 綾瀬市新総合計画の策定方針について (2) プロポーザルの実施について
2	平成30年 7月26日	(1) 次期総合計画の全体像について (2) 次期総合計画の策定に向けて（後期基本計画の振返り） (3) 総合計画の議決について
3	平成30年10月16日	(1) 次期総合計画の構成・体系について (2) 審議会の委員候補者について
4	平成30年10月30日	(1) 総合計画の策定に向けた基礎資料の作成について
5	平成31年 1月23日	(1) 戦略プロジェクトの構築に向けて
6	平成31年 2月21日	(1) 戦略プロジェクトの構築に向けて
7	令和 元年 5月21日	(1) 人口推計・財政見通しについて (2) 戦略プロジェクトについて
8	令和 元年 7月17日	(1) 次期総合計画の構成及び内容について
9	令和 元年10月16日	(1) 戦略プロジェクトについて
10	令和 元年11月11日	(1) 総合計画素案について
11	令和 2年 2月14日	(1) 総合計画素案（パブリックコメント案）について (2) 選択と集中の考え方について
12	令和 2年 6月26日	(1) 総合計画素案に対するパブリックコメント結果について (2) 総合計画の名称について

(2) 委員名簿

役職・氏名			役職・氏名		
委員長	副市長	内藤 勝則	委員	都市部長	岸 陽二郎
委員	教育長	人見 和人	委員	土木部長	森 美樹
委員	市長室長	遠藤 日出夫	委員	消防長	岡田 良春
委員	経営企画部長	市来 吉博	委員	議会事務局長	赤羽 正法
委員	総務部長	黒岩 健司	委員	教育部長	加藤 久忠
委員	福祉部長	見上 孝雄	委員	会計管理者	金子 弘美
委員	市民環境部長	永井 裕之	委員	監査事務局長	加藤 由紀子
委員	健康こども部長	浦山 豊	委員	農業委員会事務局長	綱島 豊
委員	産業振興部長	岩見 照人	事務局	企画課長	峯山 哲夫

(令和2年4月1日現在)

(3) 中堅・若手職員専門部会（かわせみ部会）の開催経過

回	年月日	主な議題
1	平成30年 8月30日	(1) 中堅・若手職員専門部会について
2	平成30年10月 1日	(1) 負のシナリオについて
3	平成30年11月22日	(1) 「希望のシナリオ」の作成に向けて
4	平成30年12月21日	(1) 「希望のシナリオ」の作成に向けて～戦略プロジェクト～
5	平成31年 1月31日	(1) 「希望のシナリオ」の作成に向けて～戦略プロジェクト～
6	平成31年 4月23日	(1) 負のシナリオについて (2) 戦略プロジェクトについて
7	令和 元年 6月24日	講演 市を変える！「世に出る」公務員のススメ ～いきいきと自分らしく働く～ (講師：東京都小金井市職員 堤 直規氏)
8	令和 元年 8月 7日	(1) 10年後の都市像について (2) 戦略プロジェクトの実践に向けて
9	令和 元年10月 3日	(1) 次期総合計画の実現に向けた実践的な取り組みについて
10	令和 2年 3月25日	(1) 次期総合計画の実現に向けた実践的な取り組みについて
11	令和 2年 8月 3日	(1) 次期総合計画の実現に向けた実践的な取り組みについて
12	令和 2年10月30日	(1) 次期総合計画の実現に向けた実践的な取り組みについて
13	令和 2年12月21日	(1) 次期総合計画の実現に向けた実践的な取り組みについて

(4) 中堅・若手職員専門部会（かわせみ部会）名簿

氏名	所属	氏名	所属
森町 翼	市長室 基地対策課	川上 愛里	健康こども部 健康づくり推進課
藪 彩	市長室 基地対策課	加藤 大典	産業振興部 商業観光課
澤田 康広	経営企画部 企画課	平出 将之	産業振興部 農業振興課
岡野 裕樹	経営企画部 情報システム課	矢部 智也	都市部 都市計画課
奥田 壘斗	総務部 職員課	金子 裕平	都市部 建築課
関 洋平	総務部 収納課	藪 洋亮	都市部 みどり公園課
桃井 義典	福祉部 福祉総務課	山崎 雄志	土木部 下水道課
山田 亮平	福祉部 障がい福祉課	堂田 崇文	消防本部 消防総務課
野尻 裕一	福祉部 高齢介護課	千葉 恵	消防本部 消防総務課
王 建人	市民環境部 環境保全課	丸山 浩平	消防本部 消防署
織部 成樹	健康こども部 青少年課	伊東 はるか	教育部 生涯学習課
古賀 丈裕	健康こども部 子育て支援課		

(令和2年10月1日現在)

(1) 市民アンケート調査の概要

① 調査概要

◆総合計画の策定にあたり、市民のまちづくりに対する意向等を把握すること及び、計画づくりへの市民の関心を高め、平成30年度に実施した綾瀬市まちづくりカフェの参加を募ることを目的として、市内在住の満18歳以上の男女1,000人を対象にアンケート調査を実施しました。

◆平成30年9月13日（木）～平成30年10月10日（水）に調査を行い、有効回収数は364票、有効回収率は36.4%でした。

② 調査項目

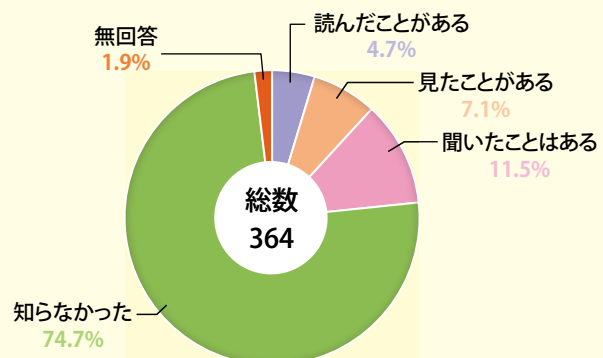
◆本アンケート調査での調査項目は以下に示すとおりです。

- 1 総合計画についての認知度
- 2 本市が人口減少に転じることについての考え
- 3 本市が今後力を入れるべき取り組み
- 4 各種計画策定時における市民参画のあり方についての考え
- 5 まちづくりに関する活動の実施の有無

③ 調査結果の概要

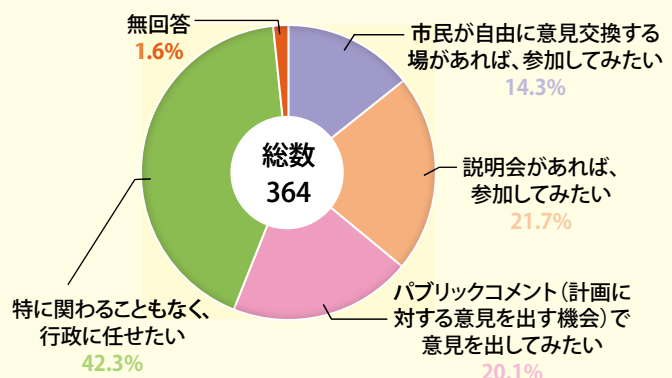
◆総合計画についての認知度

本市の総合計画『新時代 あやせプラン 21』を知っているか聞いたところ、「知らなかった」が74.7%で最も多く、「読んだことがある」、「見たことがある」、「聞いたことはある」を合わせた『知っている』は23.3%となっており、総合計画の認知度は低い傾向にあります。



◆各種計画策定時における市民参画のあり方についての考え

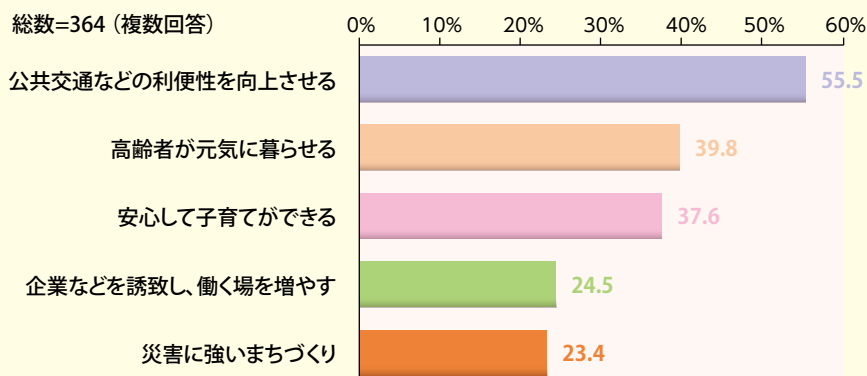
「市民が自由に意見交換する場があれば、参加してみたい」、「説明会があれば、参加してみたい」、「パブリックコメントで意見を出してみたい」を合わせた『会合等への参加や意見提出など何かしらの形で関わりたい』は56.1%と半数を超えています。



※ 小数第2位を四捨五入しているため、各回答の比率を合計しても100%にならない場合があります。

◆本市が今後力を入れるべき取り組み(上位5位)

本市でこれから力を入れていくべき取り組みを聞いたところ、「公共交通などの利便性を向上させる」が55.5%と最も多く、次いで「高齢者が元気に暮らせる」(39.8%)、「安心して子育てができる」(37.6%)が続いています。



(2) 綾瀬市まちづくりカフェの概要

【実施概要】

総合計画の策定に向けた市民参画の場として実施しました。公募市民の方々と市の若手職員が参加し、本市の好きなところ、良くしたいことやそのための取り組みなどについて、ワークショップ形式で意見交換を行いました。



回	年月日	テーマ	人数
1	平成30年11月4日	総合計画について学ぼう！ 綾瀬市の良いところ、改善すべきところを考えよう！	24名
2	平成30年12月15日	まちの将来像について考えよう！	24名
3	平成31年1月19日	将来像を実現するための重要な取り組みを考えよう！	20名



(3) グループインタビューの概要

① 実施概要

戦略プロジェクトの検討にあたって、市民等との意見交換を実施することで、戦略プロジェクトのねらい・背景・方向性などを市民と共有するとともに、実効性・実行性を高めることを目的に実施しました。

② 対象

市民活動団体、市内ボランティア、市内の事業者、綾瀬市まちづくりカフェの参加者などを中心に御協力いただきました。

③ 日程

回	年月日	人数	参加者
1	令和元年 8月 4日	3名	シニアリーダー、綾瀬市まちづくりカフェ参加者
2	令和元年 8月 6日	3名	綾瀬市まちづくりカフェ参加者
3	令和元年 8月10日	4名	教育支援教室（ルピナス教室）ボランティア
4	令和元年10月 4日	4名	工業関係者、農業関係者
5	令和元年11月12日	5名	商業関係者、市民活動団体関係者、子育て支援団体関係者

(4) パブリックコメントの概要

実施期間：令和2年4月21日～5月20日

意見提出者：3名

意見件数：延べ27件

提出方法：直接1名、メール2名

(5) まちづくりニュースの発行

回	発行年月	テーマ
1	平成31年 3月	総合計画の策定についての説明、綾瀬市まちづくりカフェの開催概要の報告
2	令和 元年12月	戦略プロジェクトの検討内容の紹介、グループインタビューの実施概要の報告
3	令和 2年 4月	パブリックコメントの案内、総合計画素案の構成 等